

平成30年 3 月期 決算説明資料

株式会社ユビキタス

代表取締役社長 佐野勝大

2018年5月14日

© 2018 Ubiquitous Corporation. All rights reserved.

This presentation is for informational purposes only. Ubiquitous makes no warranties, express or implied, in this summary.



Agenda

- 平成30年 3 月 期業績の概要
- セグメント及び製品分野別動向
- 平成31年3月期の業績予想と重点取り組み
- トピックス

業績の概要

平成30年3月期 決算ハイライト(連結)

業績予想比

単位：百万円

	H30/3期	修正後 業績予想	増減額	期業 績予 初想	増減額
売上高	2,349	2,390	△40	2,470	△121
営業損益	4	△28	32	△20	24
経常損益	42	12	30	△20	64
当期純損益	△11	△81	69	△93	82

◆ エーアイコーポレーション社子会社化などにより連結売上105.3%増

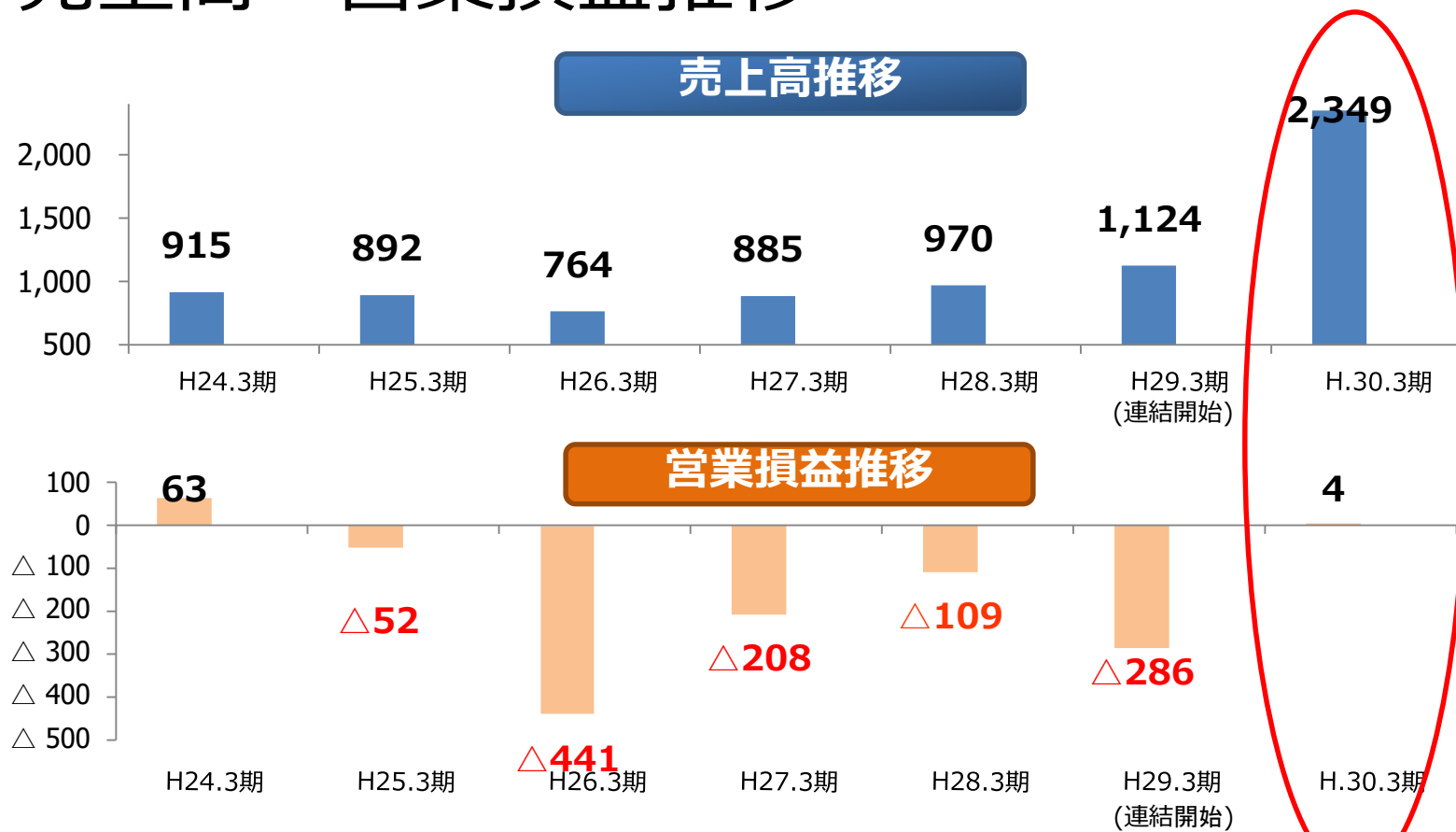
◆ 売上計画若干及ばずも、経費圧縮などにより損益改善し、営業黒字化を達成

◆ 当期実績サマリー

- コネクティビティ事業(ユビキタス)：大型受託案件、車載関連セキュリティ新規案件などにより計画を上回り着地
- 組込みソフトウェア事業(ユビキタス)：高速起動は既存車載関連ロイヤルティ堅調で売上最高値も、新規案件獲得未達で計画下回り着地、データベースは既存顧客ロイヤルティ貢献し、目標上振り着地
- ソフトウェアディストリビューション事業(AIC)：新規販売権8製品獲得、開発ツール、Bluetooth、BIOSなどが堅調で目標若干上回る着地
- ソフトウェアサービス事業(エイム)：車載関連への音楽データコンテンツライセンス好調で受託売上未達分をカバーし、利益目標計画通り着地

売上高・営業損益推移

単位：百万円



損益計算書

(単位：百万円)

	連結			個別		
	前年同期	H30/3期	増減	前年同期	H30/3期	増減
売上高	1,124	2,349	① 1,225	720	745	24
売上原価	563	1,194	630	344	315	△29
売上総利益	560	1,155	594	376	429	53
販管費	847	1,151	② 304	659	400	△259
営業利益	△286	4	290	△283	29	313
営業外損益	△0	38	③ 38	2	2	-
経常利益	△286	42	329	△281	31	313
特別損益	△22	33	④ 55	△20	32	52
法人税等	38	87	⑤ 48	2	5	3
当期純利益	△347	△11	336	△303	59	362

【対前年増減要因】

・連結営業利益（+290）

- ①売上高
AIC連結加入（+1,233）
- ②販管費
AIC連結加入（+442）
ユビキタス（△259）
のれん償却額等、
連結修正（+130）

・連結経常利益（+329）

- ③営業外損益
AIC受取補償金（+35）

・連結当期純利益（+336）

- ④Miew株式売却益（+34）
減損損失の減少（△19）
- ⑤AIC法人税等（+49）

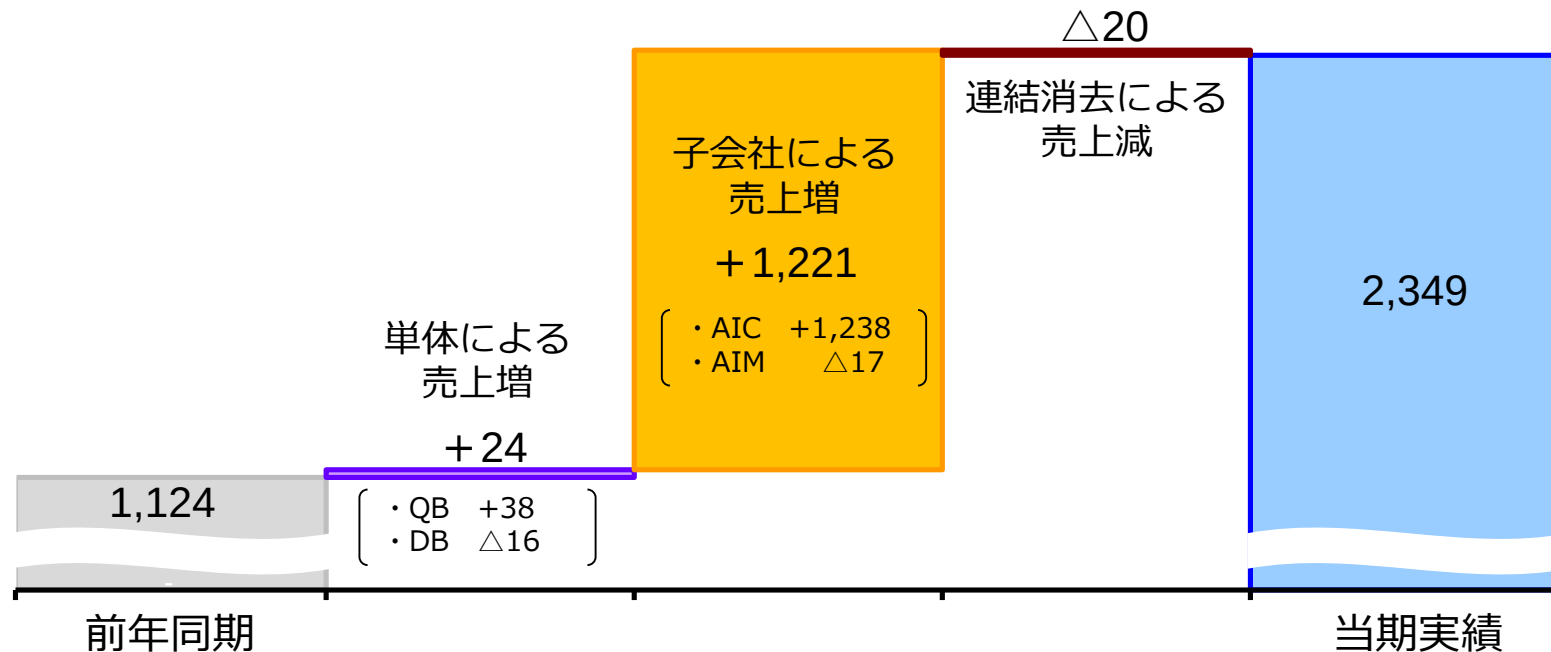
(注)当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

前期比増減：売上高

(単位：百万円)

【主な要因】

- ・ AICの連結加入

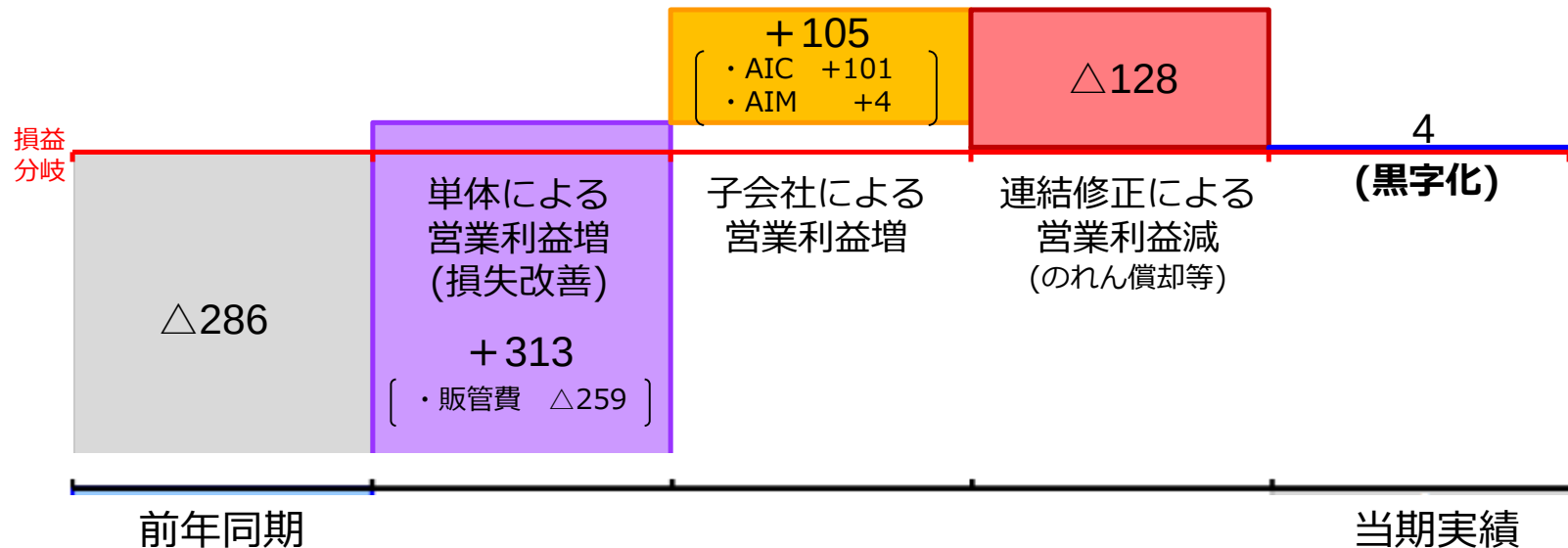


前期比増減：営業利益

(単位：百万円)

【主な要因】

- ・ ユビキタスの販管費減少
- ・ AICの連結加入

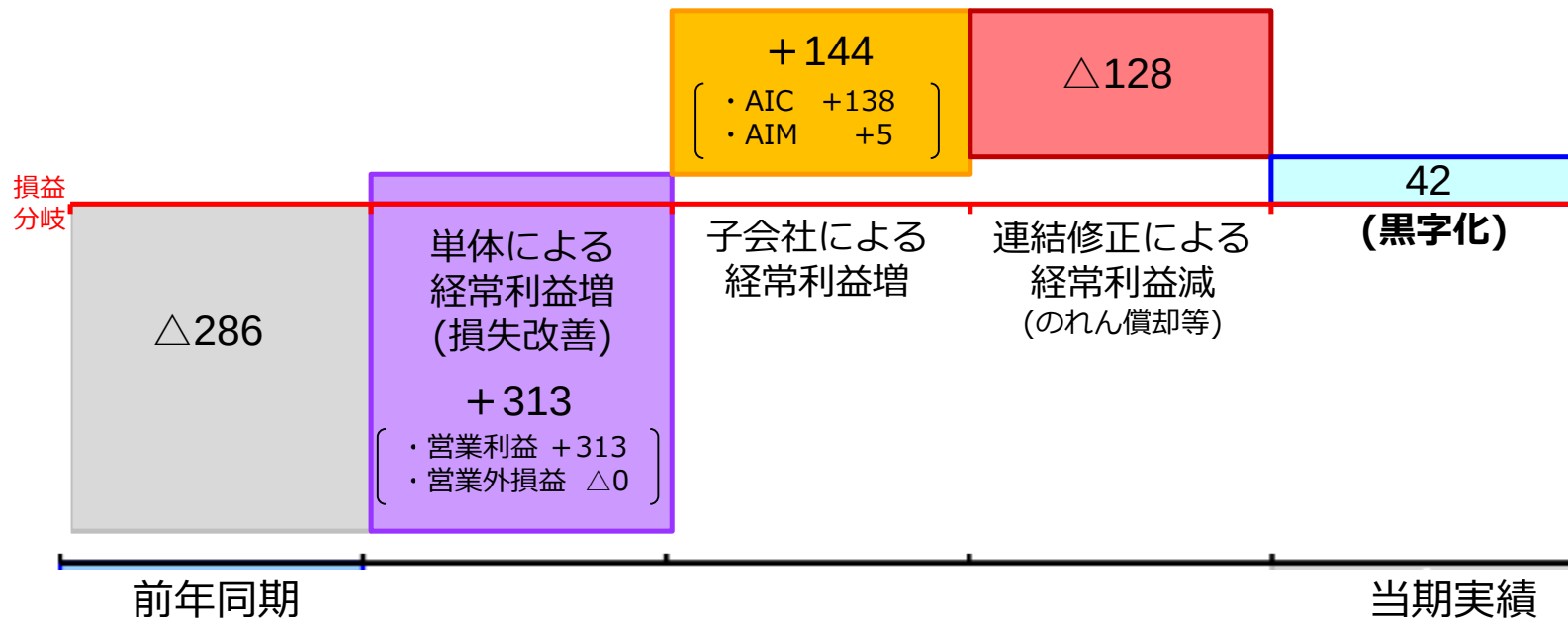


前期比増減：経常利益

(単位：百万円)

【主な要因】

- ・ ユビキタスの営業利益改善
- ・ AICの連結加入(受取補償金+35)



貸借対照表（資産の部）

（単位：百万円）

	連結			個別		
	H29/3月末	H30/3月末	増減	H29/3月末	H30/3月末	増減
現金・預金	2,032	954	① Δ1,077	1,826	486	Δ1,339
受取手形・売掛金	218	685	② 467	144	224	80
有価証券	-	400	③ 400	-	400	400
棚卸資産	20	14	Δ6	21	6	Δ14
前払費用	15	60	45	12	15	3
その他流動資産	12	84	72	7	4	Δ3
流動資産	2,299	2,200	Δ99	2,011	1,138	Δ873
子会社株式	-	-	-	720	1,513	793
のれん	415	736	④ 321	-	-	-
その他固定資産	185	348	⑤ 162	166	248	81
固定資産	601	1,084	483	886	1,761	875
資産合計	2,900	3,284	384	2,898	2,900	1

【対前期末増減要因】

・連結流動資産（Δ99）

- ①現金・預金
AIC株式取得（Δ793）
有価証券取得（Δ500）
- ②受取手形・売掛金
AIC連結加入（+375）
ユビキタス（+80）
- ③有価証券
金銭信託運用（+400）

・連結固定資産（+483）

- ④のれん
AIC取得（+531）
当期償却（Δ210）
- ⑤投資有価証券（+76）
→債券運用（+100）、
及びMiew株式売却

貸借対照表（負債・純資産の部）

（単位：百万円）

	連結			個別		
	H29/3月末	H30/3月末	増減	H29/3月末	H30/3月末	増減
買掛金	13	185	① 172	30	36	5
未払金	76	74	△1	70	19	△50
前受金	32	100	② 68	31	14	△16
その他流動負債	80	172	③ 92	34	41	6
流動負債	202	533	331	167	112	△55
固定負債	39	102	④ 62	29	26	△2
資本金	1,466	1,470	4	1,466	1,470	4
資本剰余金	1,436	1,440	4	1,436	1,440	4
利益剰余金	△289	△300	△11	△245	△186	59
その他純資産	45	37	⑤ △7	44	35	△8
純資産	2,658	2,648	△10	2,701	2,761	59
負債・純資産合計	2,900	3,284	384	2,898	2,900	1

【対前期末増減要因】

・連結流動負債（+331）

- ①買掛金
AIC連結加入（+154）
- ②前受金
AIC連結加入（+85）
- ③その他流動負債
未払法人税等（+46）
未払消費税等（+37）

・連結固定負債（+62）

- AIC連結加入による
- ④退職給付に係る負債
（+47）
- ④資産除去債務（+16）

・連結純資産（△10）

- ⑤有価証券評価差額金
（△5）
- ⑤新株予約権（△2）

セグメント及び 製品分野別動向

セグメント及び製品分野別の売上高進捗

(単位：百万円)

セグメント	分野	前年同期 (連結)	H30/3期 (連結)	増減率
コネクティビティ事業		※ 386	387	0.5%
組込みソフトウェア 事業	デ ー タ ベ ー ス	105	89	△15.2%
	高 速 起 動	229	267	16.9%
	小 計	334	357	6.8%
ソフトウェアサービス事業		403	370	△8.9%
ソフトウェア ディストリビューション事業		—	1,233	—
合計		1,124	2,349	109.0%

※前期までの製品分野の「組込みネットワーク分野」及び「サービス&ソリューション分野」の売上高の合計値を表示しております。

セグメント別売上及び利益

(単位：百万円)

		前 年 同 期 (連 結)	H30/3期 (連 結)	増 減 額
コネクティビティ事業	売 上 高	※1 386	387	1
	セ グ メ ン ト 利 益	△345	△73	271
組込みソフトウェア事業	売 上 高	334	357	22
	セ グ メ ン ト 利 益	61	102	41
ソフトウェアサービス事業	売 上 高	403	370	△32
	セ グ メ ン ト 利 益	※2 △2	※2 2	4
ソフトウェア ディストリビューション事業	売 上 高	—	1,233	—
	セ グ メ ン ト 利 益	—	※3 △4	—

※1 前期までの製品分野の「組込みネットワーク分野」及び「サービス&ソリューション分野」の売上高の合計値を表示しております。

※2 株式会社エイムの株式取得に関して生じたのれんの償却額 103百万円を含めております。

※3 株式会社エーアイコーポレーションの株式取得に関して生じたのれんの償却額 106百万円を含めております。

平成30年 3 月期 決算ハイライト

中期計画達成に向けた構造改革と組込みソフトウェア事業注力「**選択と集中**」の実施により、連結営業黒字化を実現、事業ポートフォリオの分散による安定した収益基盤を整備

- ・ 構造改革：ソーバル社へのクラウドサービス事業譲渡と協業の発表
IoTエッジデバイス市場に向けた組込みソフトウェアへの経営資源の集中
- ・ エーアイコーポレーション社の買収による商材、商圏の拡充

コネクティビティ事業

売上高 387百万円

組込みソフトウェア事業

売上高 357百万円

ソフトウェアサービス事業 (グループ企業：エイム社)

売上高 370百万円

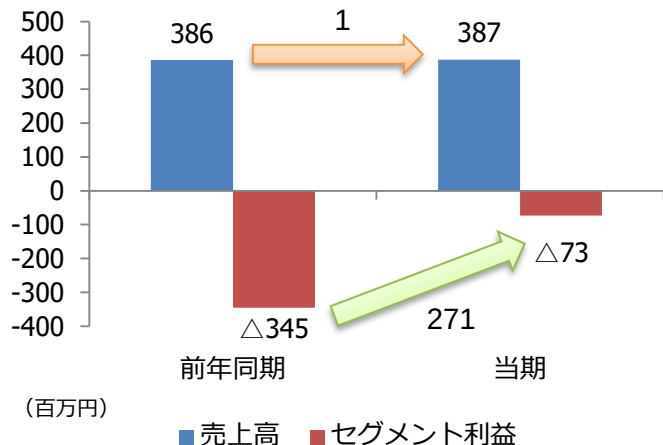
ソフトウェアディストリビューション事業 (グループ企業：エーアイコーポレーション社)

売上高 1,233百万円

平成30年3月期

決算ハイライト

コネクティビティ事業



NF Ubiquitous
Network Framework

SR Ubiquitous
Securus

EL Ubiquitous
ECHONET Lite

■売上 前年比30.6%増 (譲渡したIoTクラウド事業除く組込みソフトウェア関連)

<ネットワーク関連製品>

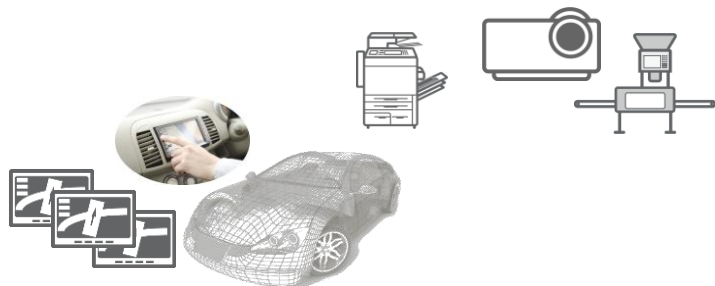
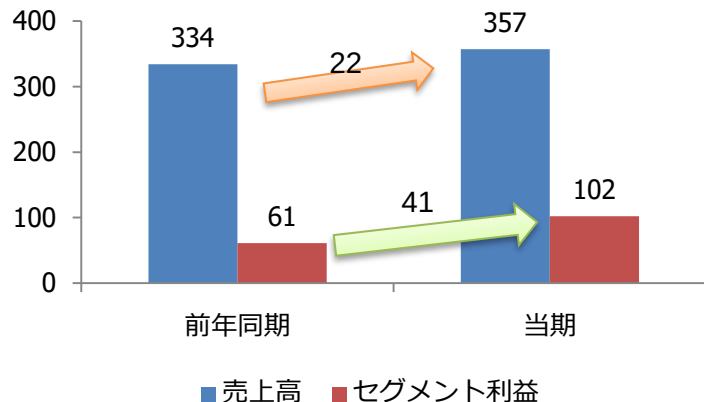
- スマートエネルギー（電力/ガス）関連大型案件の受注、納品
- 官公庁向け自動車の無線高速接続技術研究に関する委託事業案件受注、納品

<セキュリティ関連製品>

- 車載機器向けセキュリティ製品の契約獲得
- IoTセキュリティソリューション向け研究開発とディストリビューション事業海外パートナーとの連携による製品開発

平成30年3月期 決算ハイライト

組込みソフトウェア事業



■ 売上前年比 6.8%増、高速起動は過去最高

<高速起動製品>

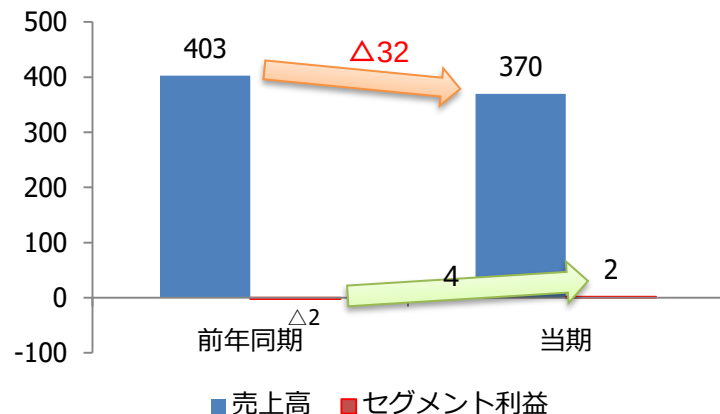
- 採用済み顧客の量産が堅調推移、発売開始から1,500万ライセンス突破(2018年12月末)
- 車載機器関連で継続した次機種向け受注・案件対応、車載機器以外の新規案件を複数獲得
- インテル X86系プラットフォーム対応、Android O対応、Automotive Grade Linuxなど売上機会拡大に向けた技術対応を継続

<組込みデータベース製品>

- 産業/車載/OA機器などの既存顧客からの安定収益を確保

平成30年3月期 決算ハイライト

ソフトウェアサービス事業

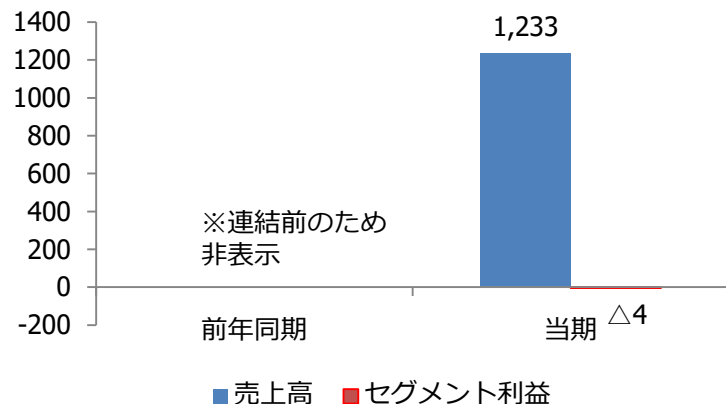


- 車載機器向けの「YOMIデータ」コンテンツに関するライセンス使用料が堅調に推移
- 既存顧客、新規顧客からの各種受託開発売上等を計上
- グループ内のシステムエンジニアリング機能として社内取引、案件紹介が増加



平成30年3月期 決算ハイライト

ソフトウェアディストリビューション事業



- 「CodeSonar」、「Silver」など品質向上支援ツール製品の既存顧客の継続（年間利用料）と新規契約が堅調で収益に貢献
- Bluetooth、BIOS、通信関連製品が堅調
- 新規取扱開始9製品、ドライバー監視ソフト「CoDriver」が自動運転化に向け、販売好調
- 自動運転対応に向けた車載ソフトウェア開発の品質向上支援ツール、セキュリティ関連製品の取扱、拡販を強化



平成31年3月期の 業績予想と重点取り組み

当グループの注力市場環境の変化

スマートエネルギー・スマートホーム市場



市場動向

- ・電力・ガス自由化もITを活用したサービス、HEMS機器普及は道半ば
- ・省エネルギーの実現に向けたVPP（バーチャルパワープラント）の実証実験や蓄電池普及に向けた国の施策は継続実施
- ・AIとの連携によるスマートスピーカーと家電連携が海外中心に普及（国内の家電連携は今後）、今後の日本市場での普及に期待値
- ・ハッキングなどの事例が海外中心に発生し、セキュリティニーズが高まる

取組状況

- ・コネクティビティ事業はFY17実績がスマートエネルギー関連の受託開発中心に好調もFY18に向けては需要縮小傾向、クラウド事業を分離
- ・ディストリビューション事業もEMS関連の引き合いは継続的だが全体規模は大きくない
- ・IoTが普及フェーズとなり、インダストリー系を中心に拡大、コネクティビティのニーズも同様に拡がりエネルギー・ホーム分野が先行していた状況から変化
- ・IoTの一分野としての位置づけに変更、AI、セキュリティを含めた取組へ

当グループの注力市場環境の変化

自動車市場



市場動向

- ・EVのシフトが欧州・中国を中心に本格化
- ・海外を中心に自動運転のフィールド実証が活発化、同時に課題も抽出されAI活用などによる解決などが検討
- ・海外を中心にライドシェアの本格的普及
- ・大手プラットフォーマー（IT・クラウド）と自動車メーカーとの連携が活発化
- ・情報化、ネットワーク化の普及と同時にセキュリティニーズが高まる
- ・複雑化したシステムの品質保証が課題

取組状況

- ・グループ各社ともに自動車関連の商材・引き合いが多く全体の約50%を占める
- ・高速起動、ドライバーモニタリングシステム、データコンテンツなど他社と差別化された製品ラインアップを実現
- ・ソフトウェア品質向上ツールが自動車向けに好調
- ・コネクティビティ・セキュリティ製品のニーズが高まり、特にセキュリティ製品の展開を強化

当グループの取組方向性

エーアイコーポレーションの子会社化によるグループ規模拡大と商材の増加に伴い、幅広い市場へのアプローチが可能に

H28/3期

H29/3期

H30/3期

組込みソフトウェア
製品企画・開発技術力



みらいをつなぐユビキタス

- ・事業企画・自社製品開発
- ・市場開拓
- ・製品販売・インテグレーション

コネクティビティ・高速起動・
組込みデータベース製品が適用
可能な市場への注力

技術力と実績豊富な受託開発力



- ・エンジニアリング(受託開発)
- ・技術開発
- ・データコンテンツ制作、ライセンス

ユビキタスのフォーカス市場へ
の拡大とデータコンテンツによる
車載機器向け強化が実現

海外組込みソフトウェア
目利き力が光る技術商社力

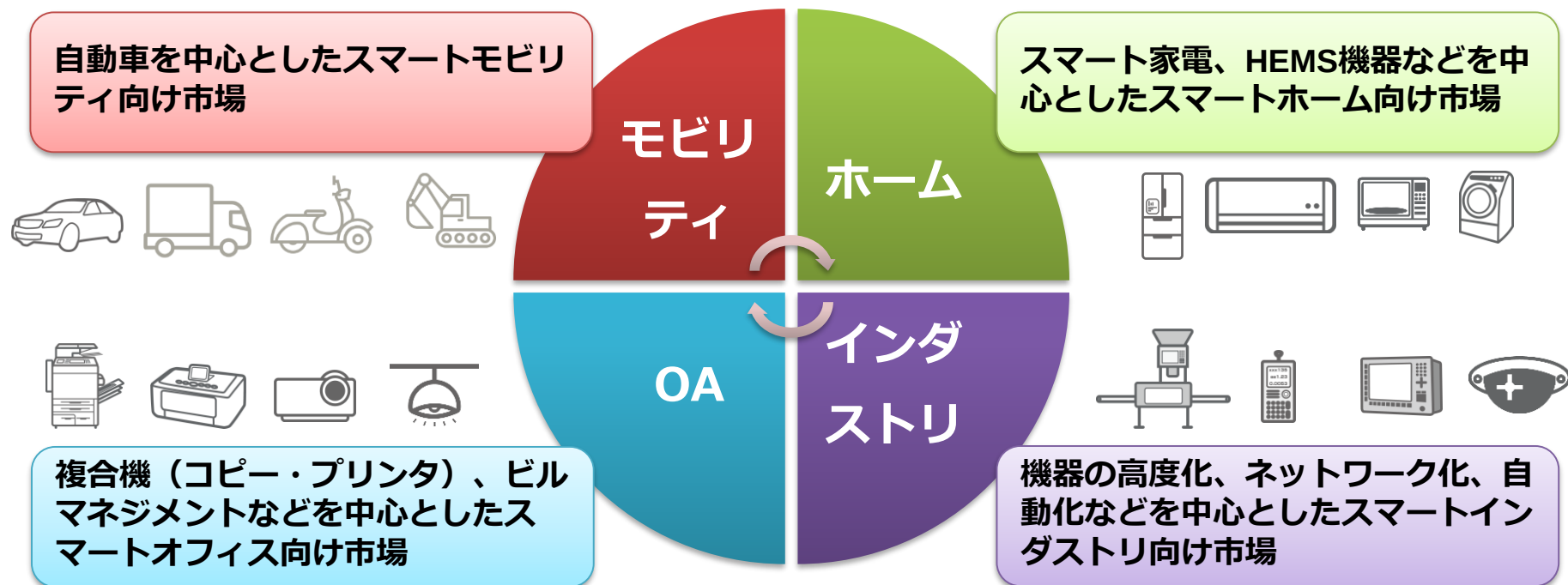


- ・海外製品仕入れ・販売
- ・技術サポート、ポーティング
- ・自社製品開発・販売

豊富な製品・取引先とユビキタ
スの製品開発により幅広い市
場・顧客へのアプローチが実現

当グループの取組方向性

IoTの普及に伴い、幅広い市場へのアプローチへ



当グループの取組方向性

注力製品カテゴリ・技術

コネクティビティ & セキュリティ

- ・IoTを実現するネットワーク・ワイヤレス技術
- ・エンドポイントセキュリティを実現するセキュリティ技術

ソフトウェア 品質向上支援ツール

- ・自動車を中心とした、開発規模の増大とIoT普及・ネットワーク対応によるソフトウェア開発効率と品質の向上、セキュリティ対策を強化する脆弱性の検証を支援する商材の強化とソリューション提供

高速起動・ハイブリット

- ・Linux/Androidの普及によるシステム起動高速化のニーズ高まりと、RTOSとのシステム連携
- ・Arm、x86対応による対応市場、ソリューション強化

AI・クラウド連携

- ・AI・クラウドと組み込みシステムの連携・組み込みシステム向けの実装に必要な技術の研究開発・製品提供
- ・AI・クラウド事業者との連携による製品企画

修正中期経営計画サマリー

ユビキタスAIコーポレーショングループ 組込みソフトウェアNo.1ベンダーへ



平成30年3月期
(2018年3月期)

計画：2,470 (▲20)

実績2,349(4)

連結営業利益確保

- 構造改革と組込みソフトウェア事業注力「選択と集中」の実施により、連結営業黒字化を実現
- 事業ポートフォリオの分散による安定した収益基盤を整備

平成31年3月期
(2019年3月期)

2,427(4)

連結営業利益確保

- エーアイ社合併による自社製品、輸入製品のクロスセル、ソリューション展開加速による収益力の強化
- セキュリティ、ソフトウェア品質向上支援ツールによるIoTセキュリティソリューションの事業展開
- 海外ベンダーとのパートナーシップの強化、次世代に向けた製品発掘とイノベーション開発

平成35年3月期
(2023年3月期)
までに、売上高35億円、
営業利益率10%以上、
ROE10%以上を達成

※ 売上（営業利益）
単位：百万円

平成29年3月期
(2017年3月期)

計画：1,520(▲97)

実績：1,124(▲286)

- M&Aによる事業規模確保
- 収益化実現に向けた構造改革とM&Aによる組込みソフトウェアへの「選択と集中」

AIなど新技術発掘、新しいイノベーションに向けた研究開発

セキュリティ/品質向上支援ツールを中心とした事業強化と次世代コネクティビティ技術の開発、提供

自社製品、技術と海外商材のプロダクトミックス、
複合ソリューション展開と技術商社機能による商圏の拡大

IoTクラウドプラットフォーム → IoTクラウドコネクティビティ

スマートエネルギー/スマートホーム → 機器のネットワーク化、セキュリティなどの高機能化と中心に対応

車載ネットワーク/システムの高速度化 + セキュリティ、認証ソリューションへの取り組み

中期事業計画：主要事業分野目標

コネクティビティ&セキュリティ事業

平成31年3月期 **売上高 3.73億円**

- ・セキュリティ分野での取組を強化、自動車を含むIoT分野での組込み機器向けのコネクティビティおよびセキュリティ関連ソフトウェア製品展開の加速とスマートライフ(スマートエネルギー、ホームコントロール)などの市場特化型ソリューションによる収益化
- ・グループシナジーを活用した製品の共同開発と提供

組込みソフトウェア事業

平成31年3月期 **売上高 4.05億円**

- ・車載機器、OA、産業機器向け中心での確実な収益確保と次世代自動車向けソフトウェアプラットフォームをパートナーと共に展開
- ・半導体、海外パートナーとの協業による海外販売の拡大
- ・グループシナジーによる高速起動製品の強化

ソフトウェアサービス事業

(グループ企業：エイム社)

平成31年3月期 **売上高 3.9億円**

- ・車載機器メーカーを中心とした音楽関連データライセンス
- ・受託開発およびオープンソース系OS、ミドルウェアのカスタマイズ

ソフトウェアディストリビューション事業

(グループ企業：エーアイコーポレーション社、7月に合併)

平成31年3月期 **売上高 12.6億円**

- ・海外組込みソフトウェア製品の輸入販売拡大とソフトウェア品質向上支援ツール、セキュリティ関連製品取り組み強化

**IoT機器向けの最先端、高機能の組込みソフトウェア部品とソリューションの提供
をユビキタスAIコーポレーション グループ全体で強力に推進**

**平成31年(2019年)3月期に連結売上高24.27億円/連結営業黒字継続
平成32年(2020年)3月期から収益化を加速**

平成31年3月期 連結業績目標

単位：百万円

	H30/3期 (実績)	H31/3期 (目標)	増減額
売上	2,349	2,427	77
営業利益	4	4	0
経常利益	42	19	△23
親会社株主に帰属する 当期純利益	△11	△28	△17

◆売上

- ・ 組込みソフトウェア分野を中心に売上拡大（詳細は後述）

◆営業利益

- ・ 売上増も、以下のコスト増を見込み営業利益目標は同水準
 - － 合併に伴う一部拠点の統合等による削減効果を見込む、一方、業務システムの統合や移行など、業務環境の整備に関わるコストが増加
 - － 一次の飛躍のための人員増、広告宣伝費等が増加

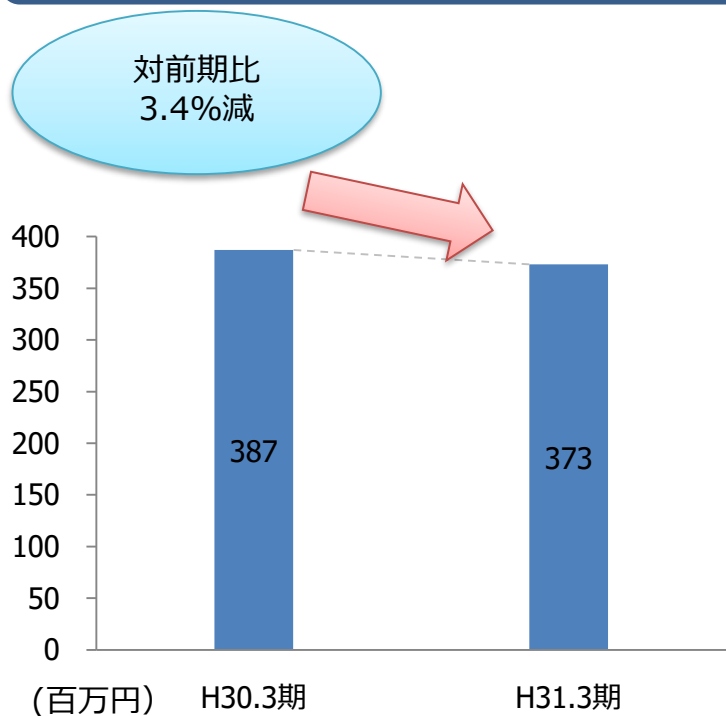
売上目標内訳

単位：百万円

		H30/3期 (実績)	H31/3期 (目標)	増減額
当社連結 売上		2,349	2,427	77
I.当社単体 売上		745	778	32
コネクティビティ事業		387	373	△14
組込みソフトウェア 事業	デ ー タ ベ ー ス	89	60	△29
	高 速 起 動	267	345	77
II. ソフトウェアサービス事業		370	391	21
III. ソフトウェアディストリビューション事業		1,233	1,260	36

コネクティビティ&セキュリティ事業 – 重点取り組み

IoTのキーとなる組み込みネットワーク技術、セキュリティ技術への注力と収益率の向上



■戦略

- IoT市場の拡大、セキュリティへの対応ニーズの高まりに対してグループで提供可能な技術および製品ラインアップを強化、事業の収益の柱として拡販
- 半導体パートナーとの協業、連携を強化

■注力分野、製品

<スマートライフ関連>

- 電力、ガス、住設市場でのスマートエネルギーサービス関連に対して、「ECHONET Lite」、「Network Framework」、「Wi-SMART」などを核としたソリューションの展開
- グループ内共同開発のBluetooth/ Wi-Fi複合無線モジュール向け製品「ComboConnect」の拡販

<車載関連>

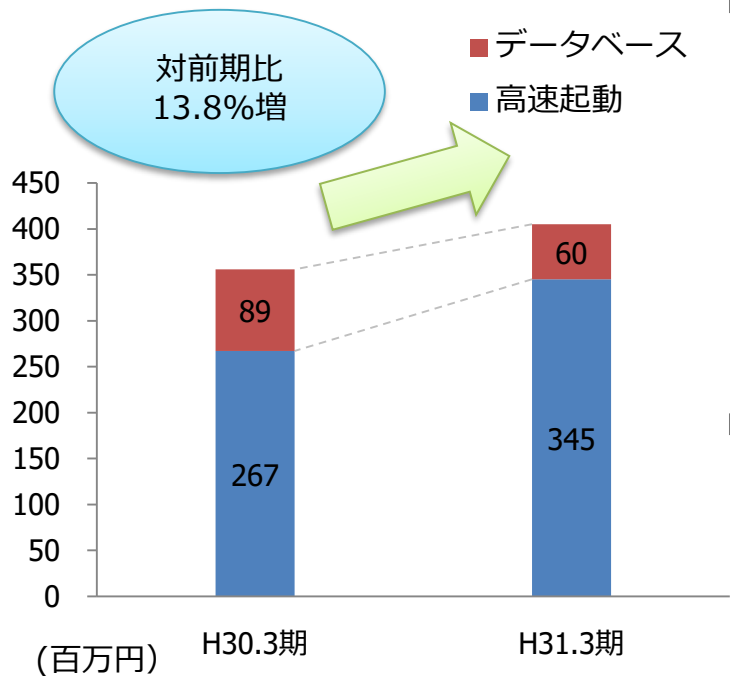
- 自動運転、コネクティッドカーのセキュリティニーズに対応したSecurus、HDCP、DTCP関連ソリューションの拡販
- 取扱海外ソフトウェア製品とのプロダクトミックス展開(CoDriver, Embedded Firewall, MISRA-C, ASIL-B対応TCP-IPスタックなど)

<IoTセキュリティ>

- ルネサス社、村田製作所社など半導体メーカーと連携、次世代半導体のセキュリティ機能(Trusted Secure IP、ARM TrustZoneなど)に対応した開発、商品化
- TPM Security2.0 (TSS2.0, SecureBoot)の製品展開(独Infineon社と協業)

組込みソフトウェア事業 – 重点取り組み

自社製品の強みを生かしたターゲット市場でのシェア、顧客獲得による売上の拡大を継続



■戦略

＜データベース＞

- 既存顧客の継続採用と横展開、産業分野を中心とした安定顧客獲得、顧客ニーズに対応する機能維持継続

＜高速起動＞

- 車載分野でのシェア拡大に必要な機能強化の継続と既存顧客での横展開・新規顧客獲得
- グループ製品との組み合わせによるプラットフォーム提案(電断ファイルシステム、SecureBoot、仮想化など)
- エーアイコーポレーション社の海外パートナー経由での海外展開

■注力分野、製品

＜データベース＞

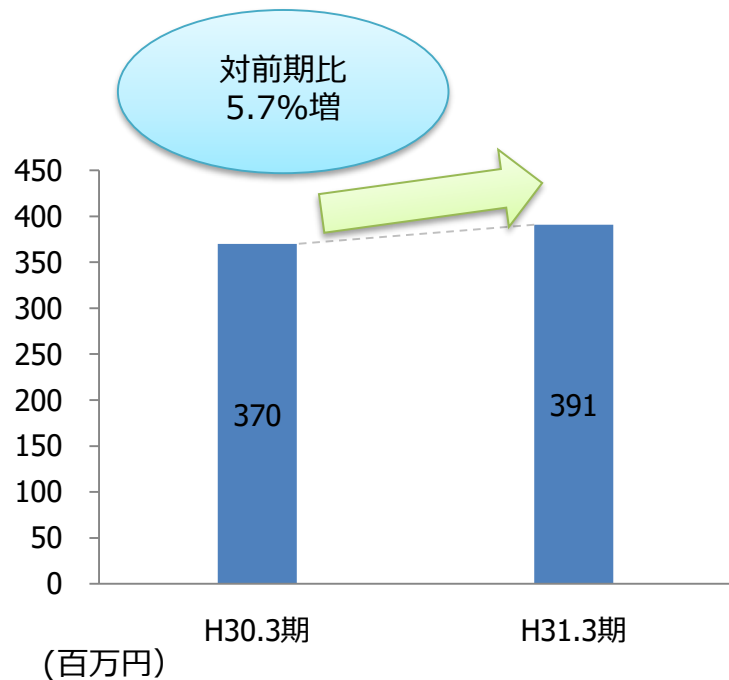
- OA機器、検査機器、産業機器などに向けた拡販とIoT機器のAI分散データ処理の可能性検討

＜高速起動＞

- 車載IVI/DA関連、OA、産業系でUIを持つ機器など / 車載SoCの最新技術対応（ルネサス社 R-Carシリーズ、NXP社i.MX8、MediaTek社 SoC, intel社CPU など）
- Automotive Grade Linux、Androidの最新バージョンへの追従対応

ソフトウェアサービス事業 – 重点取り組み

顧客関係の維持、強化による安定収益の確保とグループシナジーによる拡販



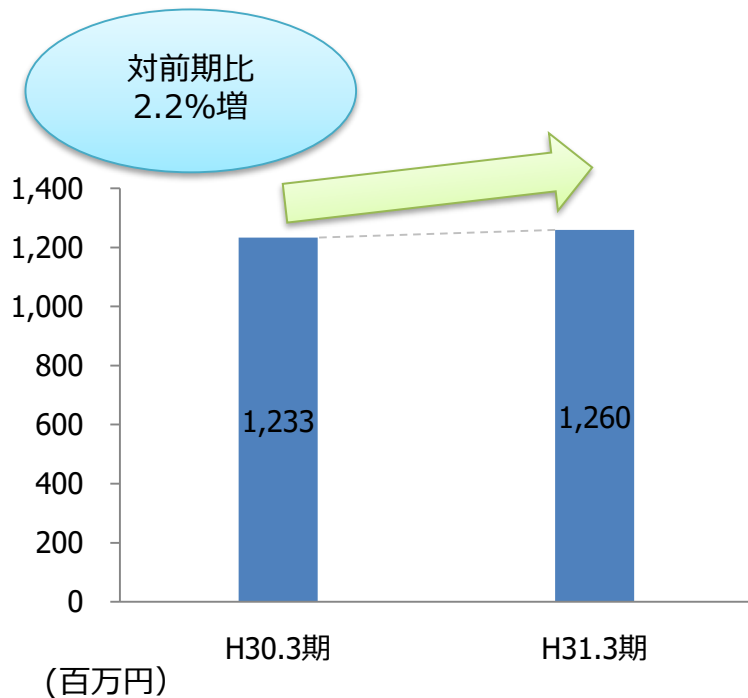
■戦略、注力分野、製品

<エイム社>

- 既存顧客との各種エンジニアリングサービス、車載機器向けの「YOMIデータ」コンテンツ等に関するライセンス取引等による安定収益獲得
- Gracenote社との連携ソリューション、顧客開拓
- グループ各社から顧客、案件紹介によるエンジニアリングサービスの増加

ソフトウェアディストリビューション事業 – 重点取り組み

ソフトウェア品質向上支援事業の拡販強化と次期収益の柱となる新規商材の開拓



■戦略、注力分野、製品

<エーアイコーポレーション社>

- Bluetooth, BIOS、通信関連製品など主力海外輸入ソフトウェア製品販売の既存顧客ビジネスの継続とグループシナジーによる新規顧客開拓加速
- ソフトウェア品質向上支援ツール、セキュリティ関連製品の拡販強化
- 「beSTORM」、「CodeSonar」を活用した脆弱性・セキュリティ検証サービスの立ち上げ
- 自動運転化に向けたドライバー監視システム「CoDriver」拡販
- 新規取扱い製品の獲得と拡販（5～10製品）
- ユビキタス製品の取扱い、グループ内共同企画、開発製品取扱いによる拡販

トピックス

グループ商材と商流の充実による収益化の加速

2017年4月

2017年5月

2017年6月

2017年7月

2017年8月

2017年9月

ユビキタス・AIコーポレーション グループ 開発製品、共同開発製品の拡充

無線モジュール向けソフト
ウェアComboConnect
製品発表

Ubiquitous ECHONET Lite
最新規格対応発表

リアルタイムOSとの協調動作対
応
Ubiquitous QuickBoot
SafeG Pack 製品発表

Ubiquitous
QuickBoot
R2.0リリース発表

魅力ある海外ソフトウェアの 取り扱い拡充

ドライバーモニタリングソ
リューション
Jungo社 CoDriver
取り扱い開始

セキュリティソフトウェア
OnBorad Security社
TrustSentinel / Aerolink /
NTRU 取り扱い開始

セキュリティソフトウェア
Icon Labs社
Floodgate Firewall
取り扱い開始

タイミング解析、検証ツール
INCHRON社
INCHRON TS
取り扱い開始

海外販路の拡大/ パートナーアライアンス

Ubiquitous QuickBootの
海外販売代理店契約を
米Datalight社と締結

グループ商材と商流の充実による収益化の加速

2017年10月

2017年11月

2017年12月

2018年1月

2018年2月

2018年3月

2018年4月~

ユビキタス・AIコーポレーション
グループ
開発製品、共同開発製品の拡充

Ubiquitous
QuickBoot インテル
x86 atom対応発表

魅力ある海外ソフトウェアの
取り扱い拡充

UAIC セキュリティ、ソフト
ウェア品質向上ソリュー
ション発表

ファジングツール
Beyond Security社
beSTORM
取り扱い開始

脆弱性検出ツール
Beyond Security社
beSECURE
取り扱い開始

UFS/eMMC Flashプロ
グラミングソリューショ
ンNuProgシリーズ
取り扱い開始

FIDO Alliance規格に
準拠したソフトウェア
ツールキット
eU2F/eUAF Toolkit
取り扱い開始

海外販路の拡大/パートナーアライアンス

サイバートラスト社と
IoT機器の脆弱性診断
サービスで協業

ソフトウェアディストリビューション事業

当期取扱開始製品一覧

	社名	取扱製品名	[製品適用分野] ・ 製品概要
第1四半期	Jungo Connectivity社 (イスラエル)	•CoDriver	[自動車：セーフティ] •ADAS用ドライバーモニタリングソフトウェア
	OnBoard Security社 (アメリカ)	1.TrustSentiel 2.0 2.Aerolink 3.NTRU	[IoT全般/自動車：セキュリティ] 1. TPM2.0対応TSS23.0ソフトウェアスタック 2. V2X向けIEEE1609.2セキュア通信スタック 3. 量子コンピューター対応暗号アルゴリズム
	Icon Labs社 (アメリカ)	•Floodgate Firewall	[IoT全般/自動車：セキュリティ] •組み込みシステム向け軽量ファイアウォール
第2四半期	INCHRON社 (ドイツ)	•INCHRON TS	[自動車 / 産業機器：品質向上支援・セキュリティ] •リアルタイムシステム向けタイミング解析、検証ツール
第3四半期	Beyond Security社 (アメリカ)	•beSTORM	[IoT全般/自動車：セキュリティ] •ファジングツール

ソフトウェアディストリビューション事業

当期取扱開始製品一覧

	社名	取扱製品名	[製品適用分野] ・ 製品概要
第4四半期	Beyond Security社 (アメリカ)	•beSECURE	[IoT全般：セキュリティ] •IoTネットワーク管理者向け脆弱性検出ツール
	Dediprog Technology社 (台湾)	•「NuProg」シリーズ	[IoT全般：開発ツール] •UFS/eMMC Flashプログラミングソリューション

グループ化開始から約1年で、6社から9製品の新たな最先端かつユニークな製品の国内販売代理権を獲得！

エーアイコーポレーションとの合併

■ 2018年4月16日発表

エーアイコーポレーション社の吸収合併契約の承認等の件を6月の株主総会に付議することを取締役会で決議

- 「メーカー」と「技術商社」両輪の“チカラ”で、最先端かつ技術力を活かしたソフトウェアソリューションをより迅速に展開できる体制に
- 販売力、開発力の向上とともに、コスト最適化を実現
- 合併期日（予定）：2018年7月1日
- 新商号：株式会社ユビキタスAIコーポレーション

Appendix

セグメント変更について（参考）

第1四半期より、以下のセグメントの追加・変更を実施いたしました。

- サービス&ソリューション事業（一部）の事業譲渡に伴い、**コネクティビティ事業の製品分野の区分を廃止**
- 株式会社エーアイコーポレーションの連結子会社化により、同社の事業に関するセグメントとして新たに「**ソフトウェアディストリビューション事業**」セグメントを追加
 - ソフトウェア ディストリビューション事業：海外ソフトウェア製品の輸入・販売・技術サポートを中心とした事業（一部ユビキタス製品の海外販売代理、自社製品ベースでの開発受託も含む）

■旧セグメント

セグメント	分野
コネクティビティ事業	組込みネットワーク関連
	サービス&ソリューション関連
組込みソフトウェア事業	データベース関連
	高速起動関連
ソフトウェアサービス事業	



■新セグメント

セグメント	分野
コネクティビティ事業	
組込みソフトウェア事業	データベース関連
	高速起動関連
ソフトウェアサービス事業	
ソフトウェアディストリビューション事業	

平成30年 3 月期 第 4 四半期 開示一覧

発表日		プレスリリース
第4四半期	1月26日	■[グループ企業情報]エーアイコーポレーション社、IoTネットワーク管理者向け脆弱性検出ツール「beSECURE」の販売を開始～ IPアドレスを持つ機器の脆弱性を評価・管理 ～
	3月1日	■ユビキタスとインフィニオン、セキュリティに関するパートナー契約(ISPN)を締結～車載用途のセキュリティ対策など、IoTセキュリティの強化を実現～
	3月8日	■[グループ企業情報]エーアイコーポレーション社が日本総代理店を務めるOnBoard Security社、耐量子コンピュータ暗号化技術「NTRU」を国際標準化に向け提案～ 米国NISTの量子コンピュータ対応公開鍵方式暗号技術の候補として選考通過 ～
	3月22日	■[グループ企業情報]エーアイコーポレーション社、UFS/eMMC Flashプログラミングソリューション「NuProg」シリーズの販売を開始
平成31年3月期 第1四半期 (参考)	4月23日	■[グループ企業情報]エーアイコーポレーション社、FIDO Alliance規格に準拠したソフトウェアツールキット「eU2F/eUAF Toolkit」の販売を開始
	4月24日	■ユビキタス社、村田製作所のArm® Mbed™環境でのWi-Fi機能実装に協力
	4月24日	■ユビキタス社、ルネサス エレクトロニクス社のセキュリティ機能搭載マイコンRX65N対応のセキュアIoT機器開発キットを発売～Trusted Secure IPへの対応で、IoT機器内にある重要情報のセキュアな管理を実現～
	4月25日	■ユビキタス・AIコーポレーション グループ、ComboConnectのIoT機器向けFirewall対応版を販売開始～Icon Labs社のFloodgate FirewallをComboConnectに搭載、IoTのエンドポイントセキュリティ強化を実現～

平成30年 3 月期 第 4 四半期 開示一覧

発表日		プレスリリース
平成31年3月期 第1四半期 (参考)	4月26日	■ ユビキタス社、Linux/Android高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot」をx86アーキテクチャ Apollo Lakeに対応
	4月26日	■ [グループ企業情報] エーアイコーポレーション社、IoT機器向け脆弱性・セキュリティ検証サービスの提供を開始
	5月7日	■ ユビキタス社、Linux/Android高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot」をインテル®Cyclone® V SoCに対応～マクニカ社製 Mpression Sodia Cyclone® V SoC評価ボードのサポートを開始～
	5月8日	■ ユビキタス社の「Ubiquitous Wi-SMART」がローム社製通信モジュールとの組み合わせでWi-SUN HANの認証を取得

平成30年 3 月期 第 4 四半期 開示一覧

開示日		適時開示
第4四半期	2月1日	■ 連結子会社の吸収合併に向けた検討開始のお知らせ
	3月1日	■ 特別利益（投資有価証券売却益）の発生に関するお知らせ
	3月19日	■ 役員人事内定に関するお知らせ
平成31年3月期 第1四半期 (参考)	4月16日	■ 100%子会社の吸収合併および商号変更等に伴う定款一部変更に関するお知らせ
	5月8日	■ 平成30年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ



Ubiquitous

株式会社ユビキタス Ubiquitous Corporation

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-21-1 明宝ビル6F TEL : 03-5908-3451 FAX : 03-5908-3452